

- 国際ファッション専門職大学: ファッションクリエイション学科
- 2023年卒業生: 浜名悠
- 留学先: イギリス
- 大学名: Central Saint Martins
- コース名: MA Fashion Womenswear (修士号/大学院)

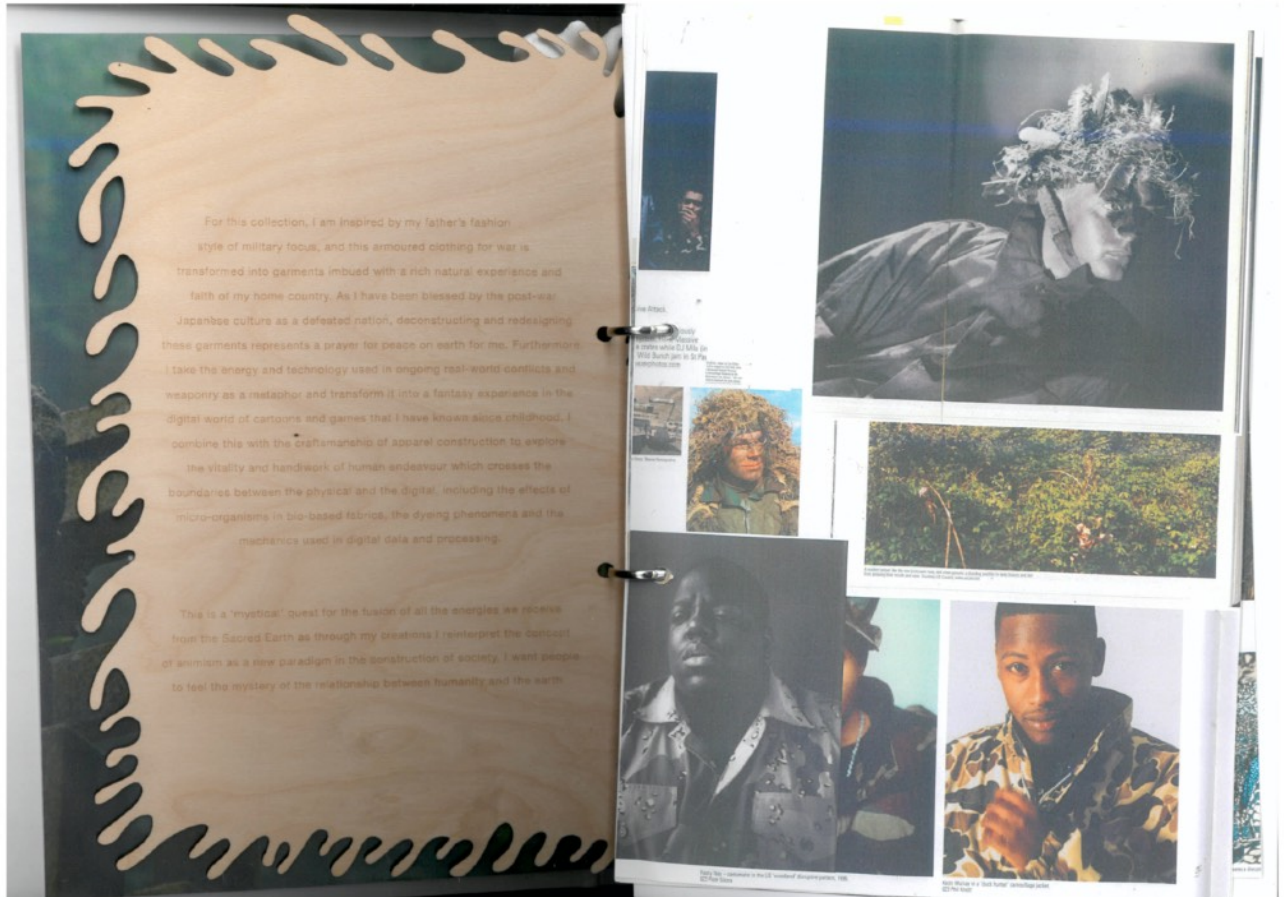
第11回目校費留学レポート目次

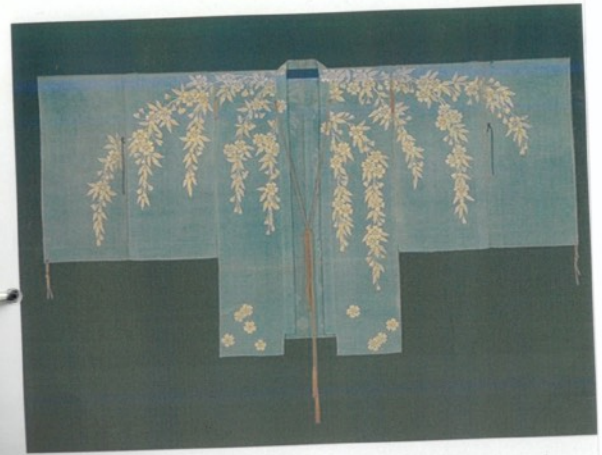
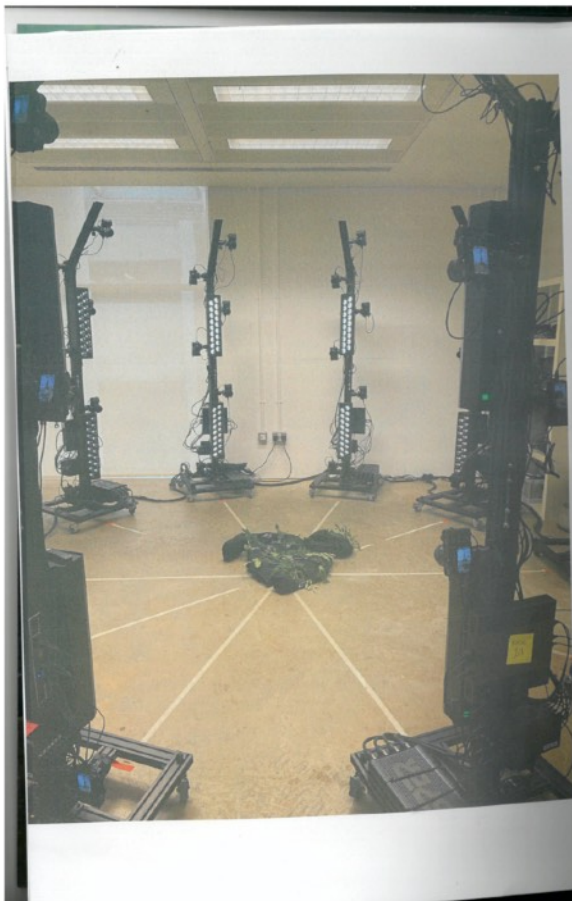
- Major Project Part 1 終了
- 入院

Major Project Part 1

今月はコレクションの根拠やストーリーとなるMajor Project Part1が終了し、自身のデザインする意義やコンセプト、デザインやアイデア、実験を含むビジュアルコミュニケーションをポートフォリオとして提出しました。先月に様々なチューターからいただいたアドバイスを元に、改善した部分を追加しました。具体的にはLook全体のプロポーシオン、特定したデザインリソース、ファッションスタイリングのリソース、シェイプやシルエットのエビデンスなどです。ブラックカルチャーに見られるスタイリングと日本の装いをミックスさせたような具体的なアイデアや機能のドローイングをもっと追加するべきだったと今となっては思いますが、全体的なストーリーテリングはビジュアルで証明することができたと思っています。サマーホリデーから続いた長いプロジェクトでしたが、自分がファッションの世界でデザインをする意義を明らかにすることで、自分を知り、よりデザイン活動に取り組みやすくなったと思っています。







LEAVES IN HICKORY
2024
PHOTOGRAPH







DYEING TEST - MOSS GREEN
BY HAND



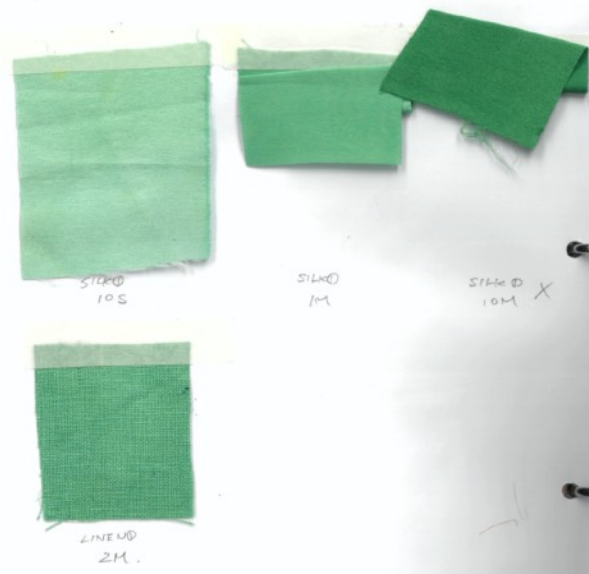
WATER: 500ML
DYEING TEMP: 40°
COLOUR FIXING: VINEGAR, SALT, DISHWASHING DETERGENT
COLOUR: APPLE GREEN, ROSE QUARTZ
21/10/24

DYEING TEST - VOLCANO BROWN
BY HAND



WATER: 500ML
DYEING TEMP: 40°
COLOUR FIXING: VINEGAR, SALT, DISHWASHING DETERGENT
COLOUR: COCOA BROWN, APPLE GREEN, ROSE QUARTZ
21/10/24

DYEING TEST - BAMBINO GREEN
BY HAND



WATER: 500ML
DYEING TEMP: 40°
COLOUR FIXING: VINEGAR, SALT, DISHWASHING DETERGENT
COLOUR: TEAL, APPLE GREEN, ROSE QUARTZ
21/10/24

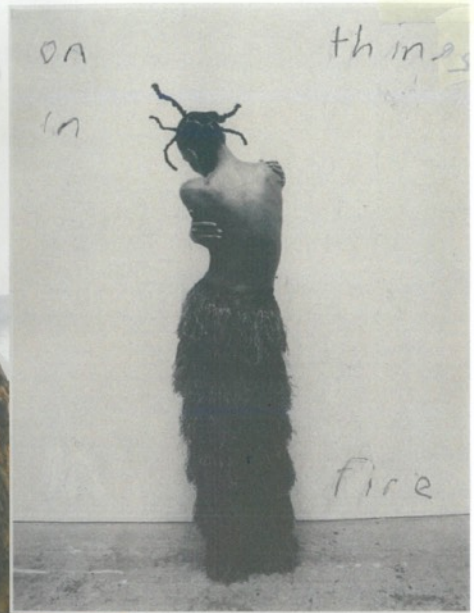
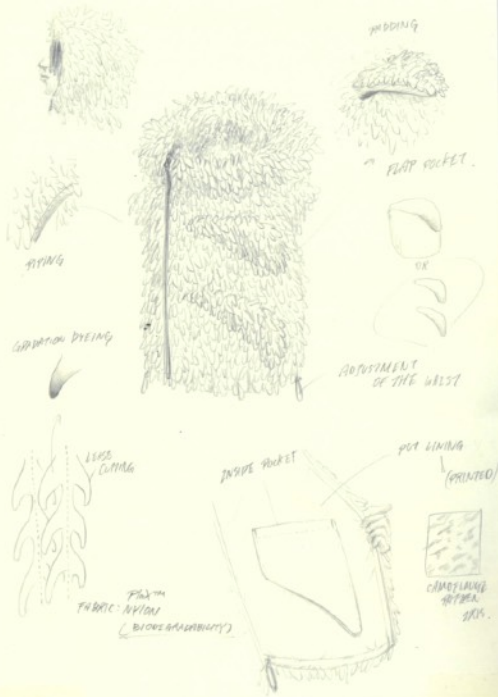


GRADATION DYEING
BY HAND





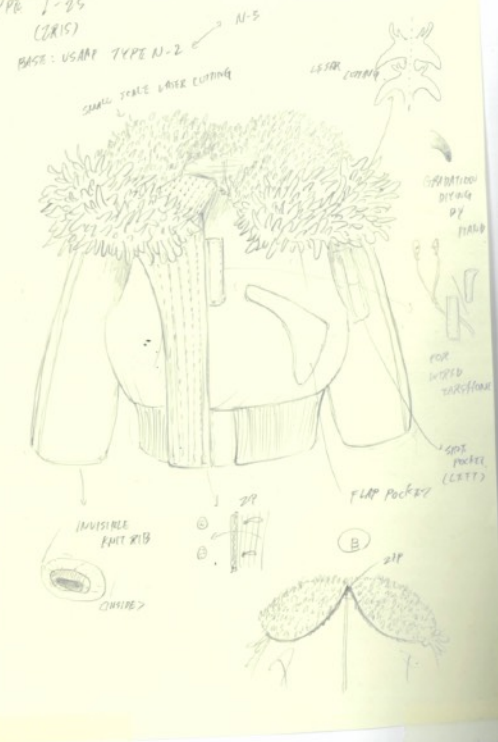
1865 GIULIO VEST

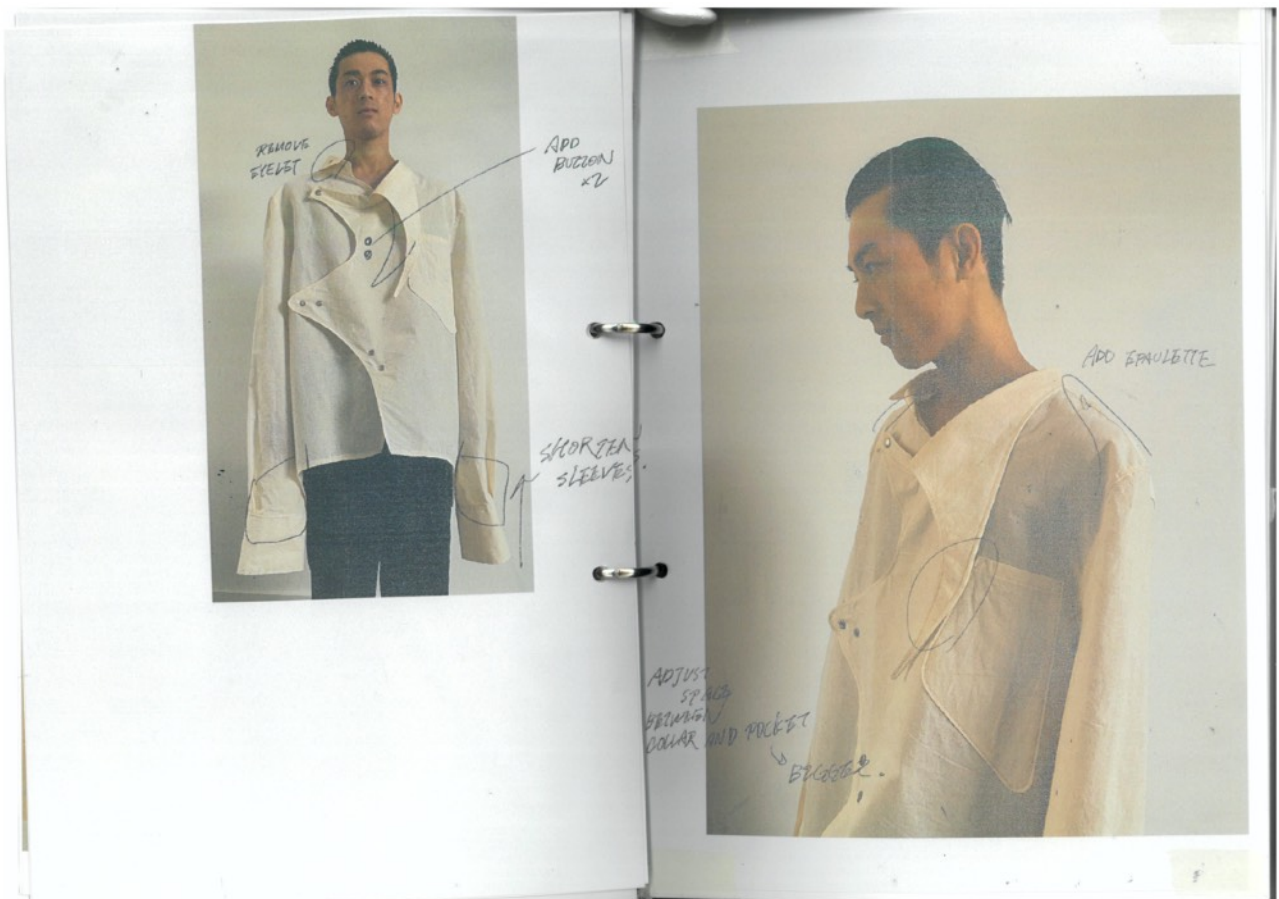


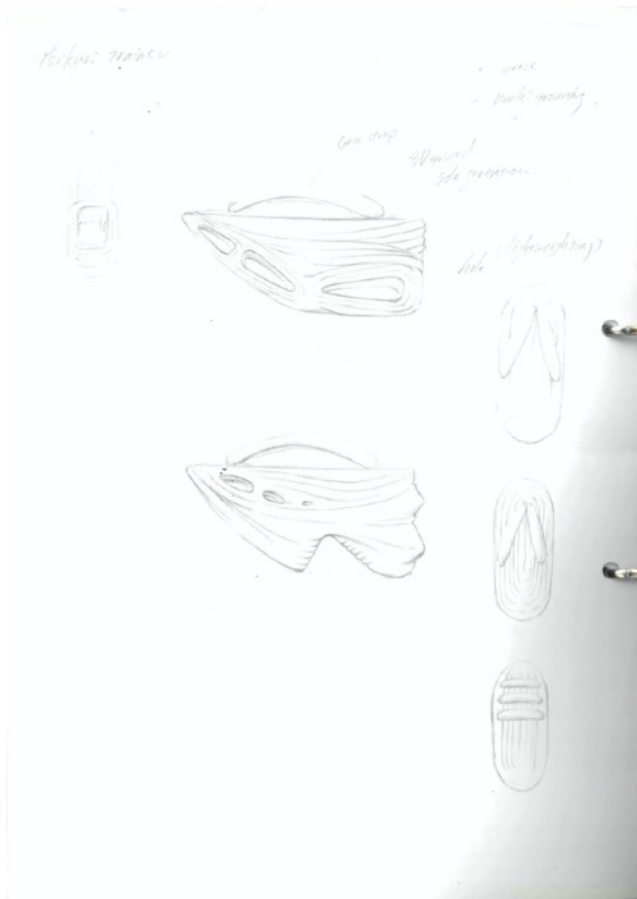
in chillee suit, SFOR, 1998. Such suits may be made of as 100 fabric strips attached to a net base. © Nicolas Pezcelle

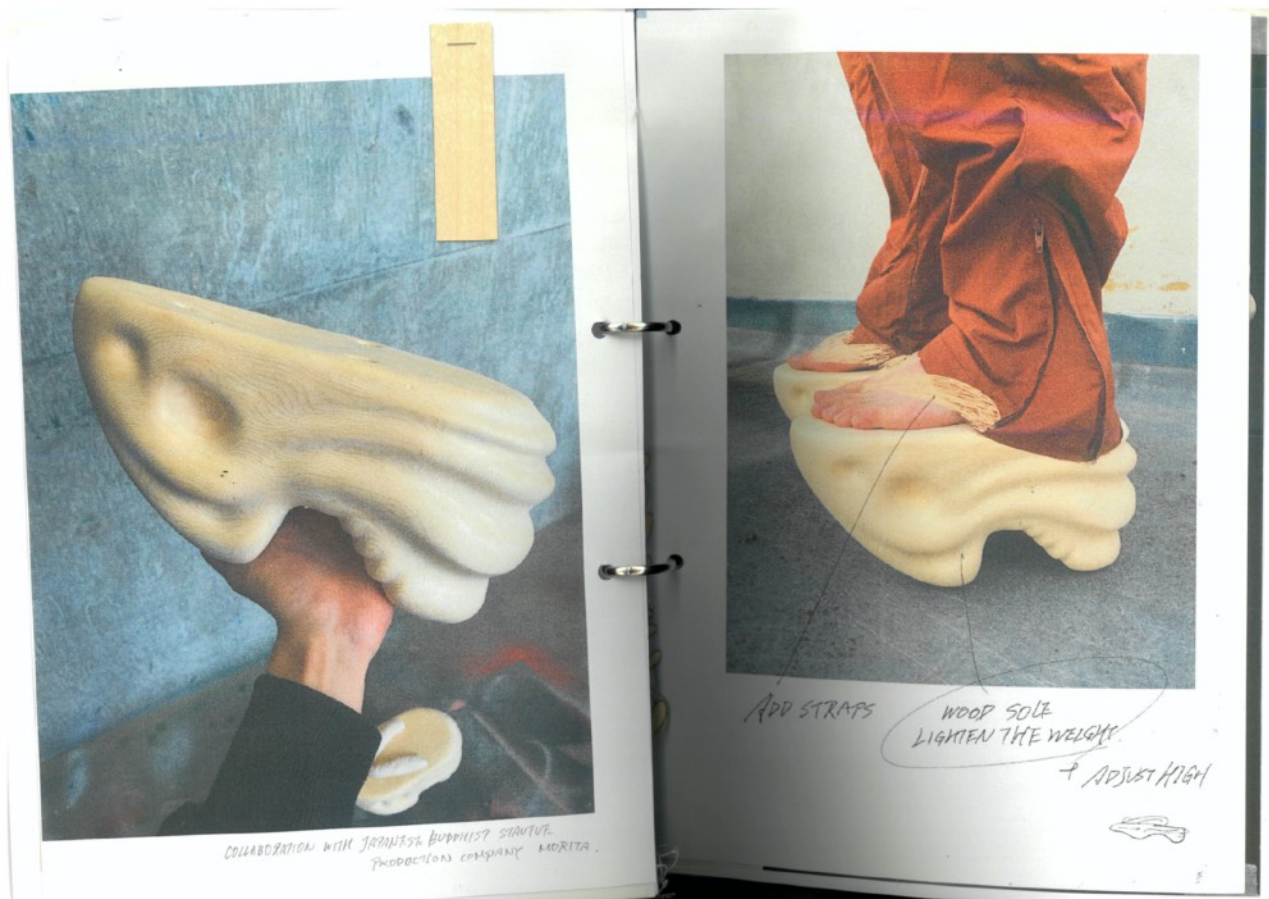
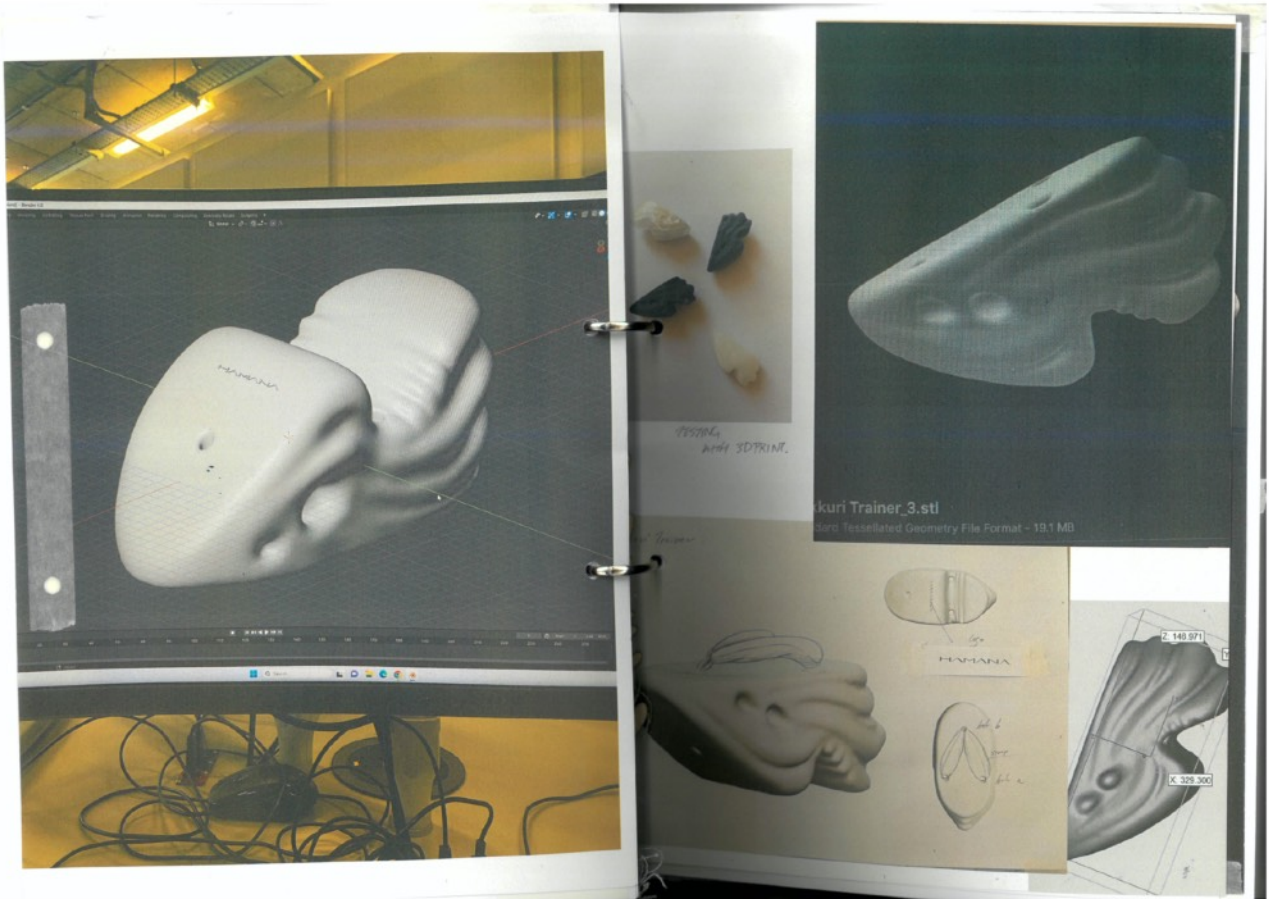
the
res
wit
ney
go.
!
Lau
!
Lau

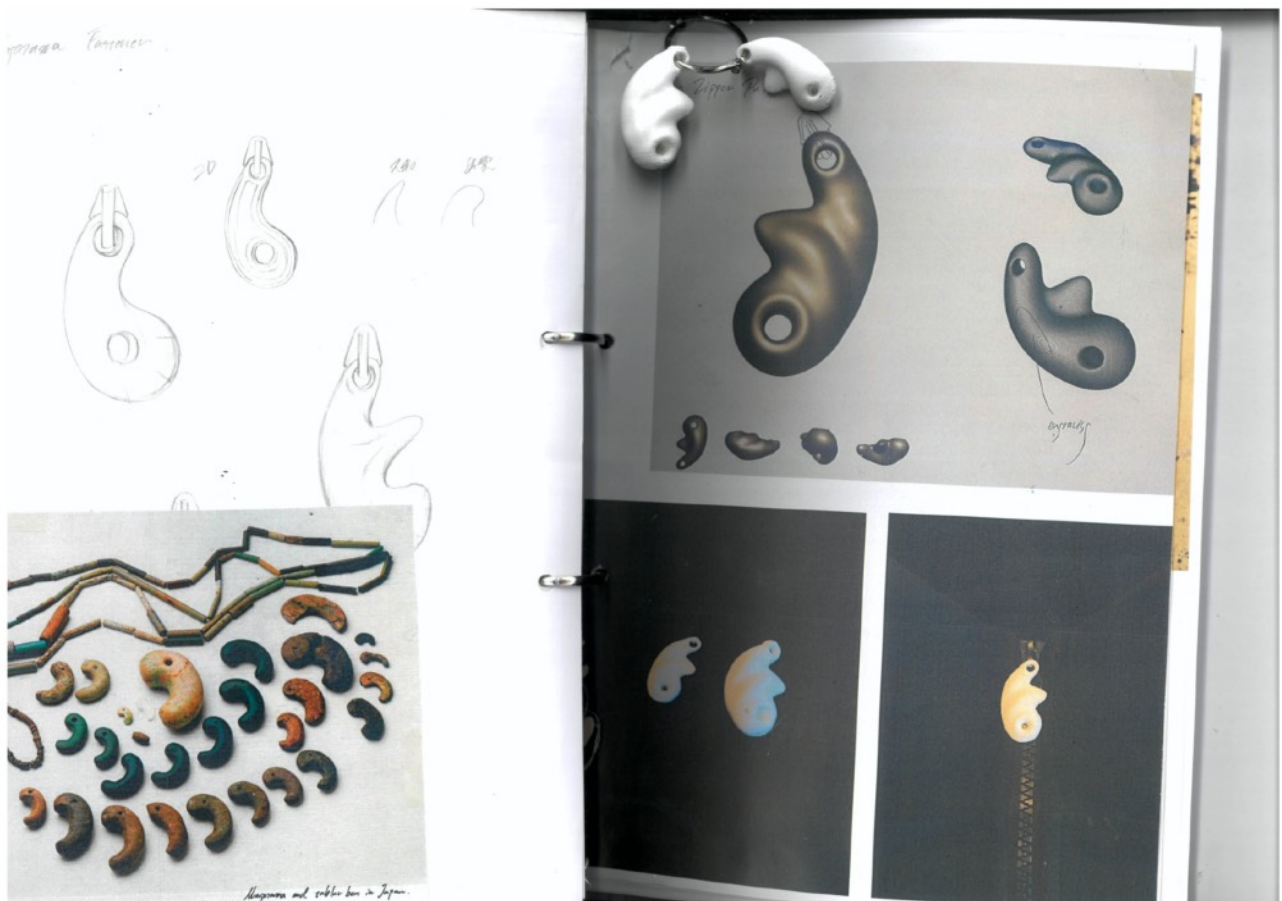
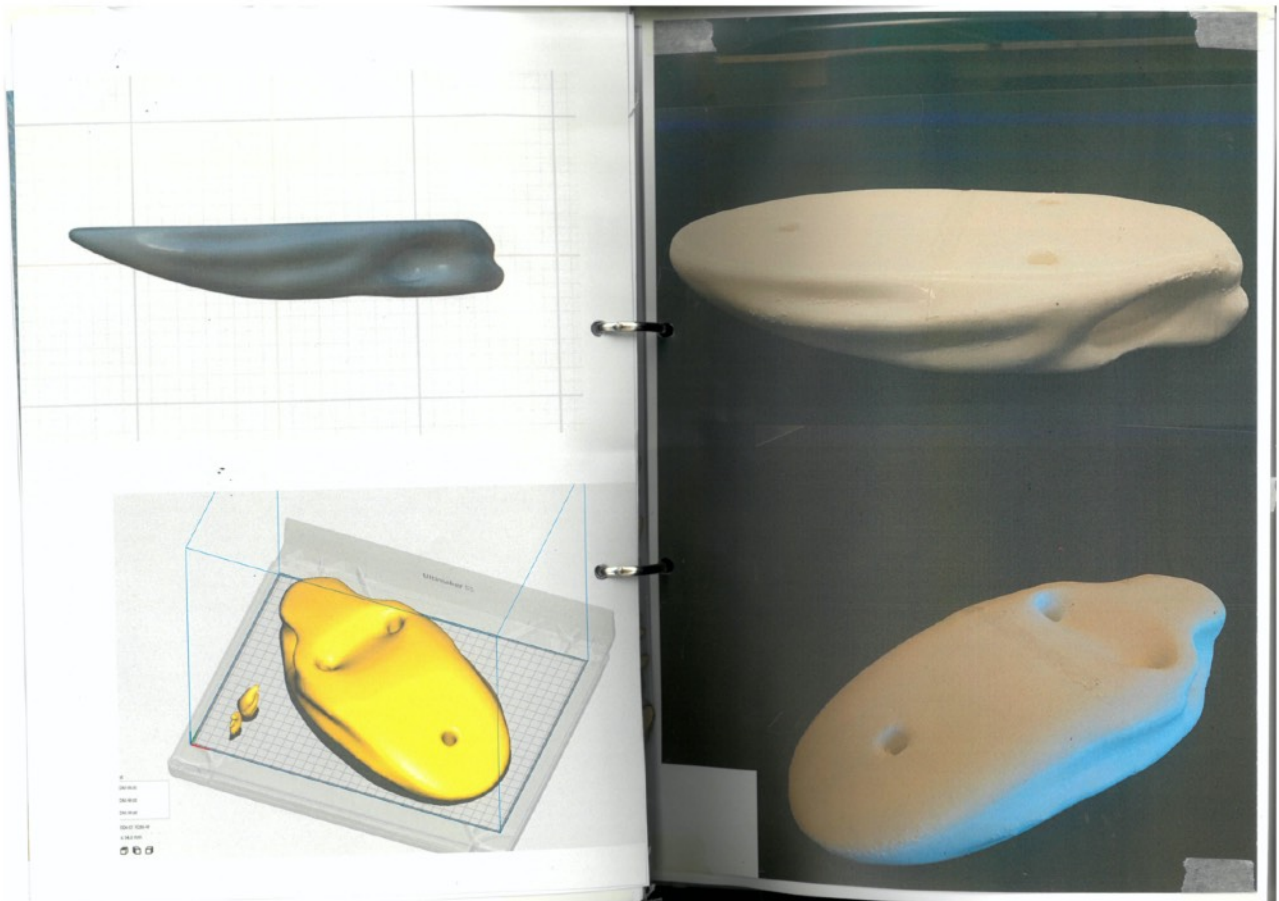
TYPE 2-25 (CRIS)

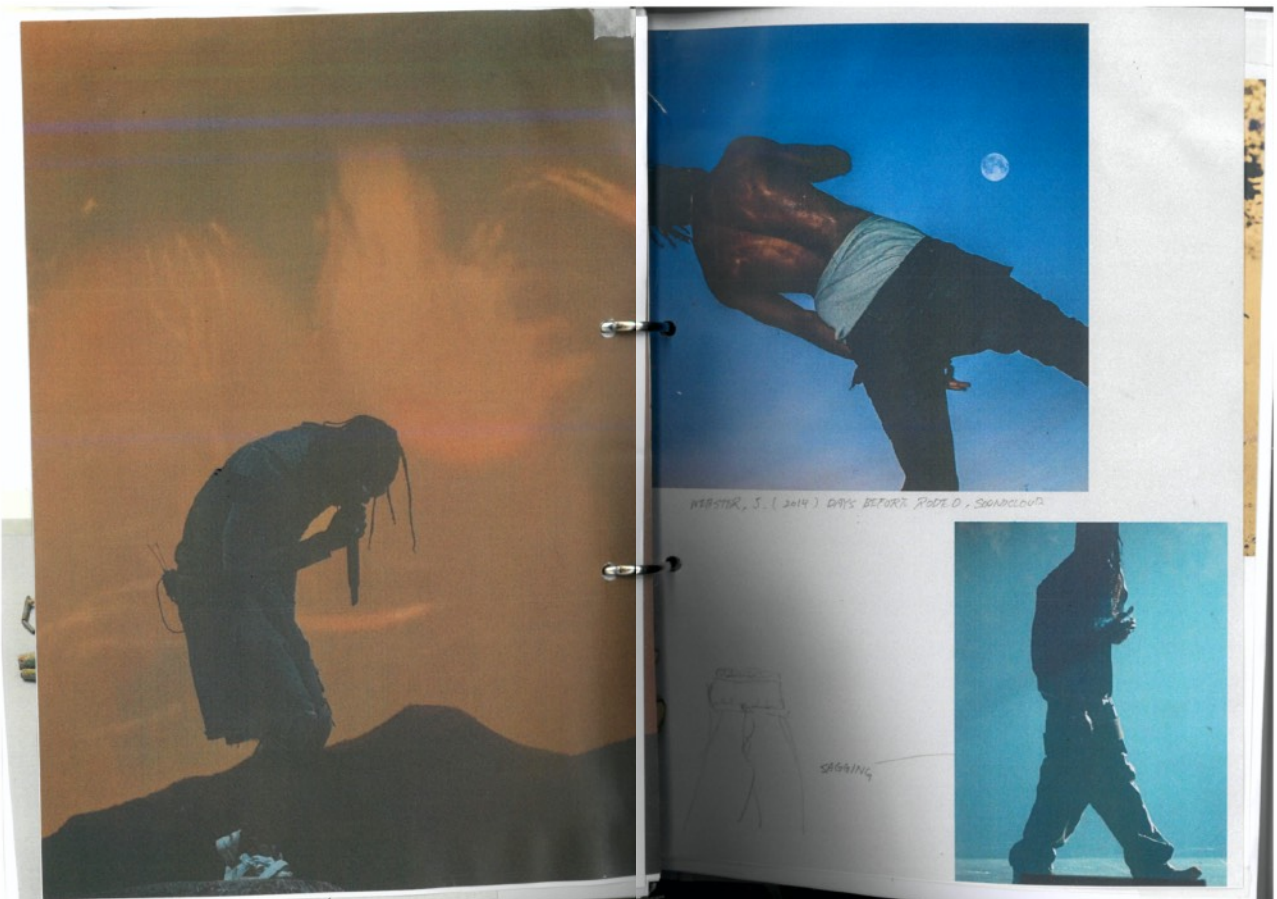














そして公式アセスメントのフィードバックもありました。内容をまとめると、

①探究／知識

[評価内容]

- > 作品の文化的・商業的背景を理解し、さらなる発展のための土台となる根拠があること。
- > 色彩とグラフィック／グラフィック・ナラティブの文化に対する深い理解があること。

[改善すべき点]

- > デザインの目的、機能性、衣服の仕様と装飾の違い、プロポーションとフィット感、全体的なスタイルのアイデンティティを洗練させるために、このコレクションのターゲットとなる市場のレベルをもっと認識する必要がある。

②デザインプロセス

[評価内容]

- > レーザーカットを施した生地や染色による色彩の実験に見られる繊細さ。

[改善すべき点]

- > 素材の選択には可能性が感じられるが、こだわりに欠ける点。素材の可能性を最大限に引き出すために、素材の探求をさらに推し進めよう。
- > 創造的な成長を促進するために、よりエネルギーと実験的なスタンドワークを増やすこと。
- > デザイン内の要素の統合や色や生地の適用が明確でなく、開発が断片的に感じられる。まとまりのあるコレクションを作るために、これらの点の統一に取り組むこと。
- > レーザーカットによるカモフラージュネットのアイデアは方向性に欠けている。
- > シェイプ／3Dをもっと検討すれば、プロジェクトに深みが増すはず。
- > カーゴパンツやミリタリーアイテムなど、オリジナルの原型をシンプルにし、参照することで、認識可能でありながら革新的なフォルムをデザインに取り入れることができる。

③コミュニケーション

[改善すべき点]

- ポートフォリオに明確な流れやアイデアの進行がありません。テキスタイルのコンセプトが自然にデザインのアイディアにつながり、その応用がわかるような、よりわかりやすい構成にすること。

④実現性

[改善すべき点]

- > 自分の仕事へのコミットメントが示されていますが、より焦点を絞り、より明確な意図が必要。
- > 深みと信憑性を加えるには、根拠となる文化や文脈を信頼し、調査する必要がある。現在、芸術的表現に限界を感じていること。
- > アイデアを完全に発展させることをためらわないこと。コレクションのスタイル的アイデンティティを定義するために、3Dへの大胆なアプローチを取り入れること。

以上がフィードバックとなっています。来月からはMajor Project Part 2が始まり、3Dのデザイン開発が始まります。今月に完成したアイデアや実験、フィードバックを踏まえて改善していきながらスタンドワークを中心に、現実的なかたちにしていきたいと思いません。

入院

今月からロンドンもかなり寒くなり、風邪を引いてしまいました。そして症状がだんだんと悪化してしまい、最終的に医者からは肺炎と診断されました。そのため、1週間ほど家の近くのHackneyの病院で入院することになりました。海外で初めての治療だったので、不安もありましたがスムーズに受けることができました。今の症状や過去の病気の説明など英語のコミュニケーションも問題なく、看護師や周りの患者の人たちとも話しながら過ごしていました。肺炎の症状や治療で辛い時もありましたが、日本とほとんど変わらずロンドンの病院で過ごすことができたのは、今後海外でも問題なく過ごすことができる安心に繋がる一つの良い経験になりました。また、様々な人たちが自分を助けてくれたので、ファッションやデザインという別のかたちですが僕も社会、世界の人たちに貢献できるような人間になりたいという想いがより強くなった経験となりました。

今月を振り返って

今月は制作が順調でいい波に乗っていた中、入院ということになってしまったのでとても歯痒い気持ちがありました。ポートフォリオの提出で徹夜作業が続き、免疫が下がっていたところこのような症状になってしまったと思っていますので、今一度自身の生活習慣やタイムマネジメントについて反省する機会となりました。また、このことについて教授との面談もあり、身体を第一に考えて欲しいとのことと、教授やチューターたちとモデルが服を着た状態で自身のコレクションについてディスカッションするフィッティングというものが来月からあるのですが、その日程も遅らせていいとのことでした。スタジオで作業していると、とても活気がある環境なので没頭してつい自身の身体について後回しにしてしまっていたので注意していきたいです。現在咳がまだ残っており、教授やチューターからも自分についてとても心配してくれていたなので、早く完治していけたらと思います。